

## 8 健全育成

研究課題 「児童の健全育成及び危機管理」

《視点2》 高い危機管理能力をもつ組織や体制づくり

### 高い危機管理能力をもつ組織や体制づくり

～ 学校への信頼・信用を築くための校長のリーダーシップ ～

山形県 天童市立干布小学校 柏 倉 充

#### 1 研究の趣旨

社会情勢の混沌・複雑化とともに、学校を取り巻く状況の厳しさも増している。学校現場においても、いじめや不登校などの問題、学級崩壊や事件事故、教職員の不祥事など、危機管理の内容も多様・複雑化し、学校に対する信頼が大きく揺らいでいる。そうした状況の時こそ、校長がリーダーシップをとり、学校運営組織を効率的・効果的に機能させ、信頼・信用を築いていくことが重要である。

学校が、子どもや保護者、地域、そして社会から信頼されるためには、教職員一人一人が危機管理意識を高め、危機に対して個々の職員の力を結集させ「組織」として最大限機能させていくという、校長としてのリーダーシップの発揮が求められる。そうした一連の学校運営の中で大切にしていかなければならないものは何か、そして校長の在り方について研究を進めていく。

#### 2 研究の概要

##### (1) 研究のねらい

児童一人一人の安心と健全な育成を目指し、職員の危機意識を高めながら、児童・保護者、地域から学校・教職員への信頼・信用を築く学校運営を図るための方策、校長の在り方を明確にする。

##### (2) 研究の経過

###### ① 第1年次（平成27年度）

ア 各校における危機管理の状況等についての情報交換（効果的な運営事例や課題等）

イ 研究の方向性やテーマ設定に向けての課題の焦点化・研究方法の検討

###### ② 第2年次（平成28年度）

ア 信頼・信用の観点から危機管理状況等について、地区内校長へのアンケートの実施とその意識分析

イ 学校運営組織の活性化を目指した具体的実践とその考察

###### ③ 第3年次（平成29年度）

ア 研究のまとめと提言、今後への課題

##### (3) 研究の内容

① アンケートを通して、地区内小学校の危

機管理上の実態と課題についての対応の把握分析

《明らかになった課題》

- ・子どもの困り感の理解が不足している職員の指導
- ・問題行動の絶無・早期解消を善しとする認識
- ・職員それぞれの違いの理解と職員指導
- ・情報の迅速なキャッチと共有化を図る組織づくり
- ・適切な初期・事後対応の在り方

② 信頼・信用を築くための組織や体制づくり、学校運営のためのポイントやその実際、校長の役割についての考察

《校長がリーダーシップを発揮する4つの視点》

視点1 校長の方針の周知・徹底と共有化

視点2 教職員一人一人の危機管理意識の向上

視点3 機能する組織・体制への再構築

視点4 校長自身の振り返り

#### 3 研究のまとめ

##### (1) 成果

① 児童の健全な育成を目指し、学校の信頼・信用を築く学校経営にスポットを当てたが、5つの課題が明らかになり、その課題に対して4つの視点から実践を深めることにより、具体的手法など校長の在り方を考える契機となった。

② 日々様々な問題は起こるが、その問題を解決すべく、校長のリーダーシップのもと職員を育てていくことが重要である。危機管理意識の向上、そして、機能する組織づくりと常に改善を図る校長のマネジメントがポイントとなる。

##### (2) 課題

校長自身が高い情報のアンテナをもち、職員の力量を見取り、先手を打つ職員指導に努めていかなければならない。また、児童が担う将来社会を見据え、自校の現状と結びつけて考える校長の確かな眼差しが重要である。